

【一回戦】 A④

5回コールドゲーム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
森山クラブ	0	0	0	0	0					0
長崎サニクリーン	2	3	1	0	1x					7

開始 14:22 終了 15:13 所要 1時間13分

【審判】 山崎光昭

【本塁打】 平田諒馬(ランニング)

白川 透

【三塁打】 小嶋大智

小田剣生

【二塁打】 西 将正

扇 裕二

【森山クラブ】 打安点球

⑥ 平川 紘夢	22	2	0	0	0
⑨ 池田 渉	32	2	0	0	0
⑤ 田崎 光星	25	1	0	0	1
⑧ 北嶋 翼	23	2	0	0	0
② 木村 透摩	19	2	0	0	0
⑦ 黒田 伸也	30	2	0	0	0
③ 早田 祐次郎	33	2	0	0	0
④ 橋村 豊広	35	1	0	0	0
4 鬼塚 雄大	23	0	0	0	0
① 井手 聖人	23	1	0	0	0

犠0振4残1併0失1 15 0 0 1

[その他の登録選手] 監督: 山口幸弘(37)

吉谷誠(27)、廣川貴大(23)、黒田貴也(27)、田中健太(24)、原口孝志(20)

平本邦夫(30)、原口雄大(22)、田中大輔(35)、真壁一成(28)

長崎サニクリーン先発の牧が五回を四球1のノーヒットで封じた。外野飛球は右飛2本だけで三振4、内野飛1、内野ゴロ8とバックも無失策で応え、攻めては6安打ながら長打3本に四球を絡ませて7点差コールド。

初回、先頭四球から平田の右中間ランニング本塁打で優位に立つと、二回も先頭四球を犠打二進後に牧、佐々田の連安打で1点。草野の右飛で好走良く二者が進塁した二死二三塁に平田の一塁への内野安打がベースカバーの投手へ送球の間に二走も還りこの回到3得点。三回一死後に三塁線二塁打の西が敵失で三進すると、続く遊ゴロ併殺崩れの間に戻り追加点。

7点差コールドを決めたのは代打の小嶋が右中間三塁打し奥田の遊ゴロ送球の間に本塁へ還った。

森山クラブは11チーム参加の諫早支部予選会を勝ち上がり平成20年以來11年ぶり2回目の天皇賜杯県大会。合併前の北高来支部時代は平成11年に出場しているが、その前後は轟ク、小長井ク、飯盛クの後塵を拝していた。

[その他の登録選手] 監督: 熊田育平(40)、小田啓太(32)、太田雄大(22)

浦志将貴(24)、廣瀬祐樹(26)、田山久倫(27)、吉田貴浩(24)、高野郁史(24)

【長崎サニクリーン】 打安点球

⑧ 草野 青空	24	2	0	0	1
⑦ 平田 諒馬	24	2	2	4	1
④ 里山 達也	31	2	0	0	1
③ 久保田優希	25	3	0	0	0
⑨ 野口 昇馬	23	3	0	0	0
⑤ 西 将正	23	1	1	0	1
H 小嶋 大智	27	1	1	0	0
R 富谷 誠志	26	0	0	0	0
② 奥田 楓	23	2	0	1	0
① 牧 悠弥	22	2	1	1	0
⑥ 佐々田伸弘	30	2	1	1	0

犠1振2残4併0失0 20 6 7 4

